

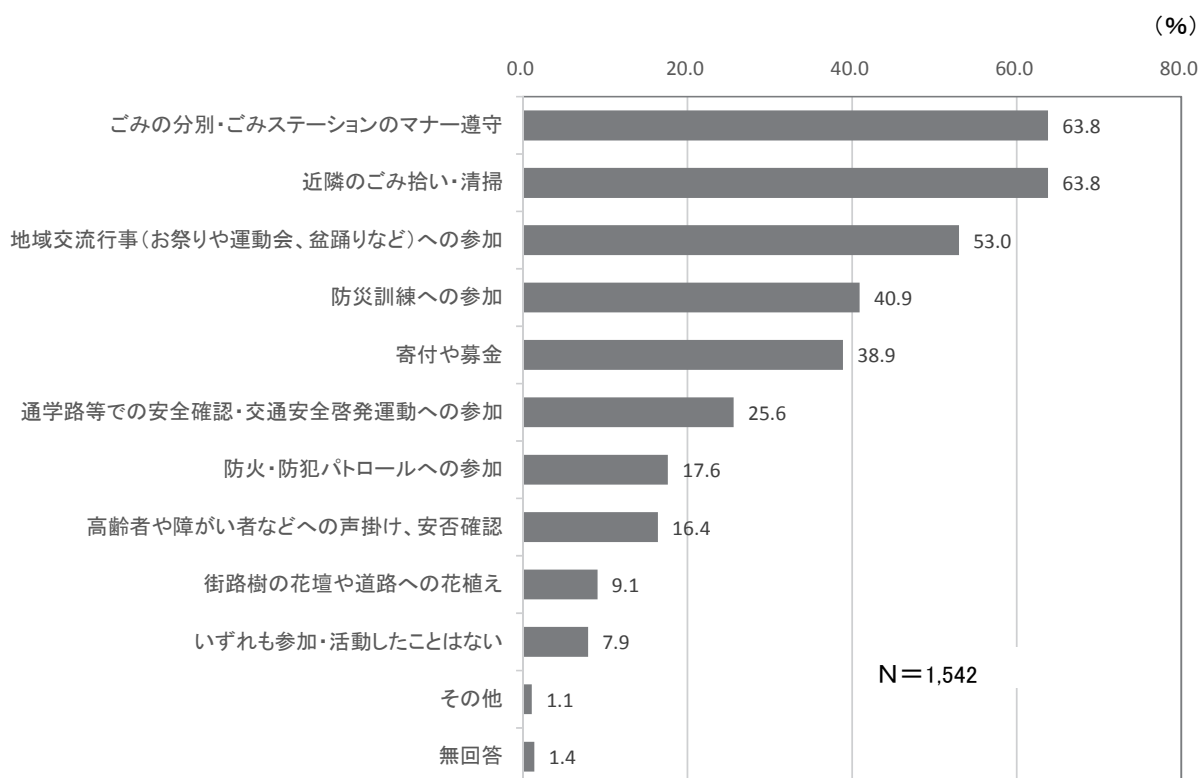
## 5. 大分市が行っている業務や個別の事業について（問6）

### （1）身近な地域のまちづくりについて

ア これまでに参加したことがあるまちづくり活動は何ですか。（あてはまるものすべて選んでください）

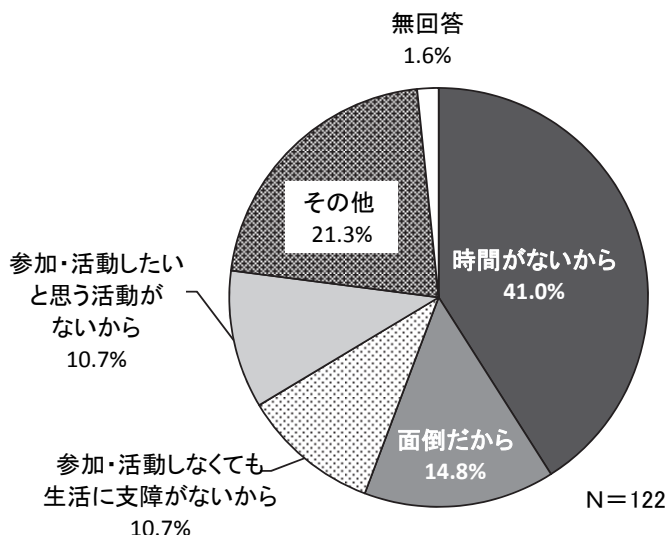
これまでに参加したことがあるまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」と「近隣のごみ拾い・清掃」という回答が63.8%で最も多く、次いで「地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊りなど）への参加」（53.0%）、「防災訓練への参加」（40.9%）が上位になっています。

一方、回答が少なかったのは「街路樹の花壇や道路への花植え」（9.1%）、「高齢者や障がい者などへの声掛け、安否確認」（16.4%）などでした。また、「いずれも参加・活動したことはない」と回答した方は7.9%でした。



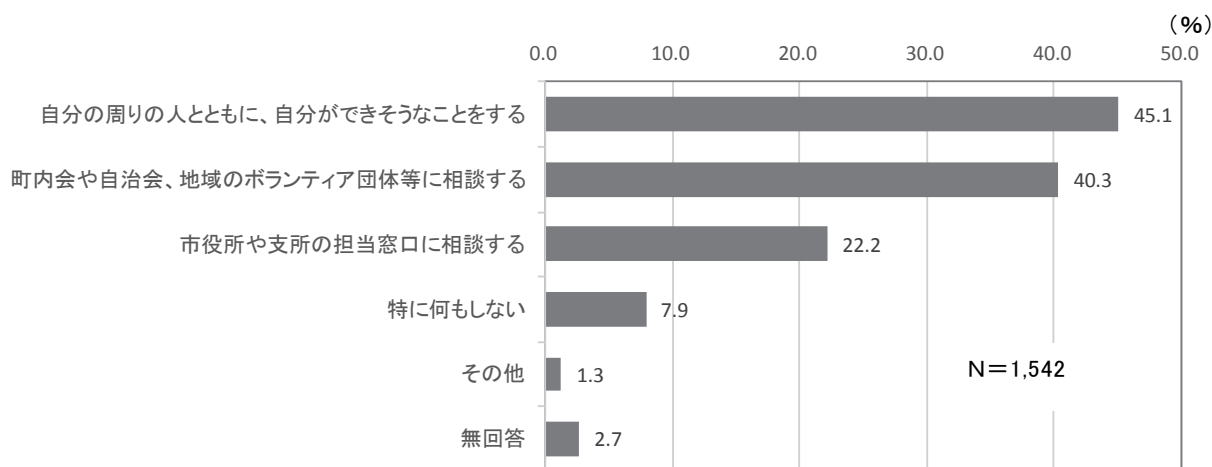
ア-① これまでまちづくり活動に参加・活動したことがない理由は何ですか。(11 と回答した方)

まちづくり活動に「いずれも参加・活動したことはない」と回答した方に理由を尋ねたところ、「時間がないから」が41.0%で最も多く、次いで「面倒だから」(14.8%)「参加・活動しなくても生活に支障がないから」(10.7%)、「参加・活動したいと思う活動がないから」(10.7%)となっています。



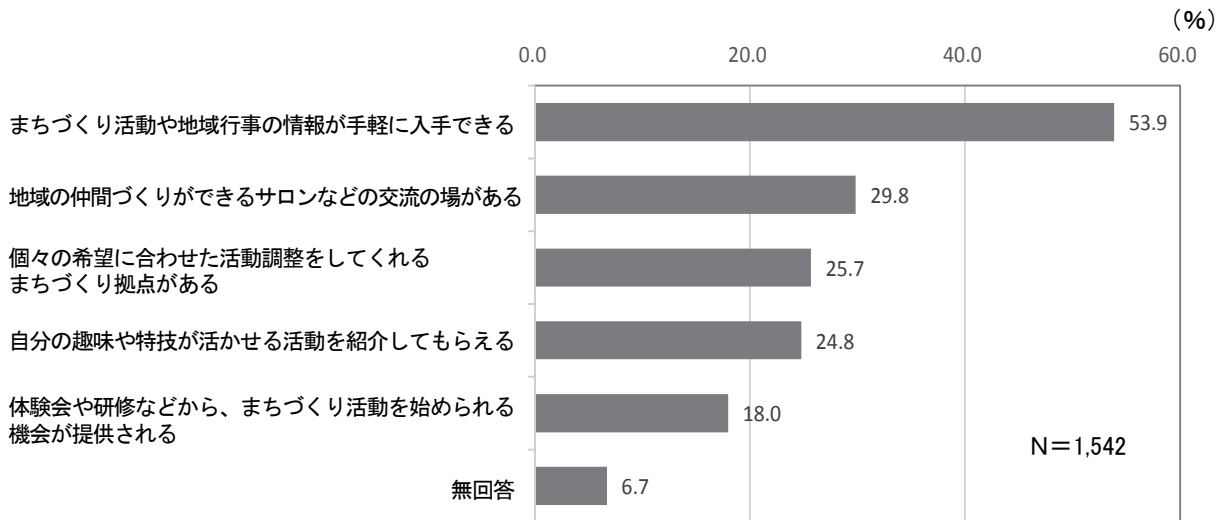
イ 身の回りや近所で何か問題が起こった時（例えば、ごみステーションが荒らされている、近所のひとり暮らしの高齢者が困っているなど）、その問題に対してどのような行動をとりますか。

問題が起こった時にとる行動については、「自分の周りの人とともに、自分ができそうなことをする」という回答が45.1%で最も多く、次いで「町内会や自治会、地域のボランティア団体等に相談する」(40.3%)、「市役所や支所の担当窓口相談する」(22.2%)の順になっています。



ウ 地域のまちづくり活動をより進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて選んでください）

地域のまちづくり活動に必要なと思うことは、「まちづくり活動や地域行事の情報が手軽に入手できる」という回答が 53.9%で最も多く、次いで「地域の仲間づくりができるサロンなどの交流の場がある」（29.8%）、「個々の希望に合わせた活動調整をしてくれるまちづくり拠点がある」（25.7%）と続いています。

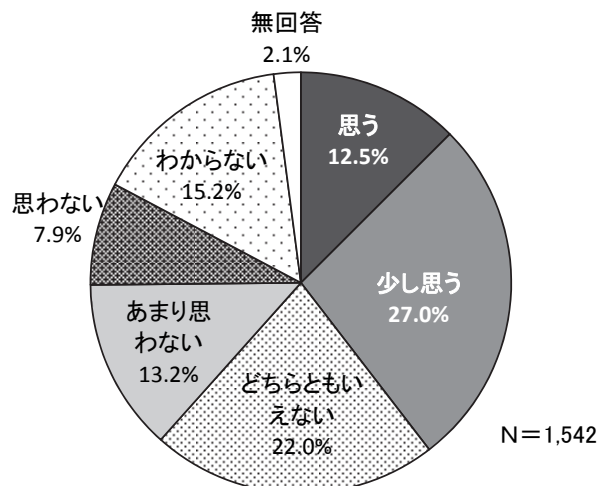


## （２）市民のまちづくりへの参加について

大分市では、だれもが住みよいまちづくりの実現を目指し、市民と行政がともに信頼し合う関係のもと「市民との協働によるまちづくり」を推進しています。

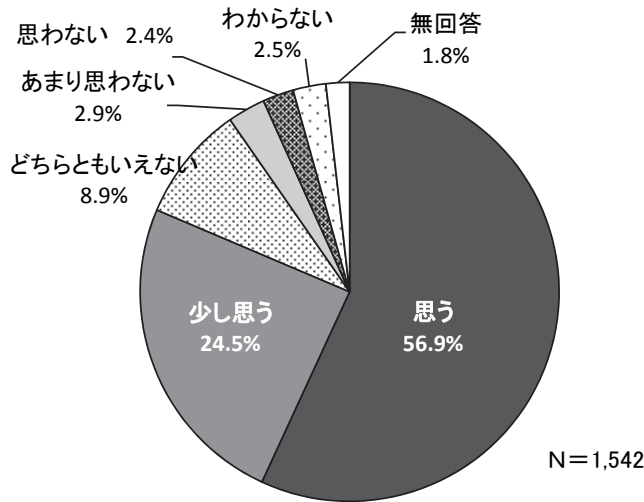
ア 現在の大分市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。

現在の大分市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますかと尋ねたところ、「思う」と回答した方が 12.5%、「少し思う」が 27.0%で、「あまり思わない」が 13.2%、「思わない」が 7.9%でした。



イ だれもが住みよいまちづくりの実現のためには、地域活動や市民活動（町内会や自治会・公民館の活動やボランティア活動など）は大切だと思いますか。

だれもが住みよいまちづくりの実現のためには、地域活動や市民活動（町内会や自治会・公民館の活動やボランティア活動など）は大切だと思いますかと尋ねたところ、「思う」と回答した方が59.6%、「少し思う」と回答した方が24.5%でした。「思わない」と回答した方は2.4%、「あまり思わない」は2.9%でした。

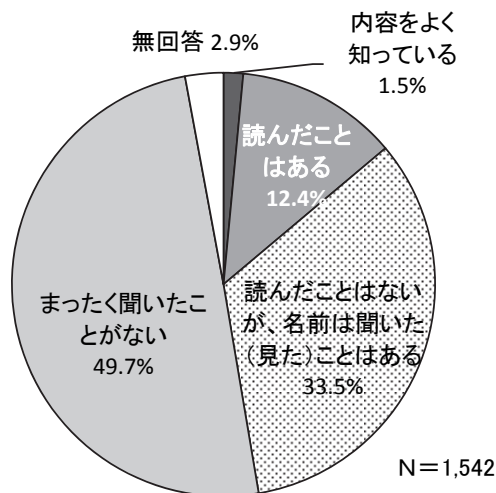


### (3) 大分市まちづくり自治基本条例について

大分市では、平成24年4月に「大分市まちづくり自治基本条例」を施行し、この条例を市民主体のまちづくりを進めるための基本ルールとして位置付けました。

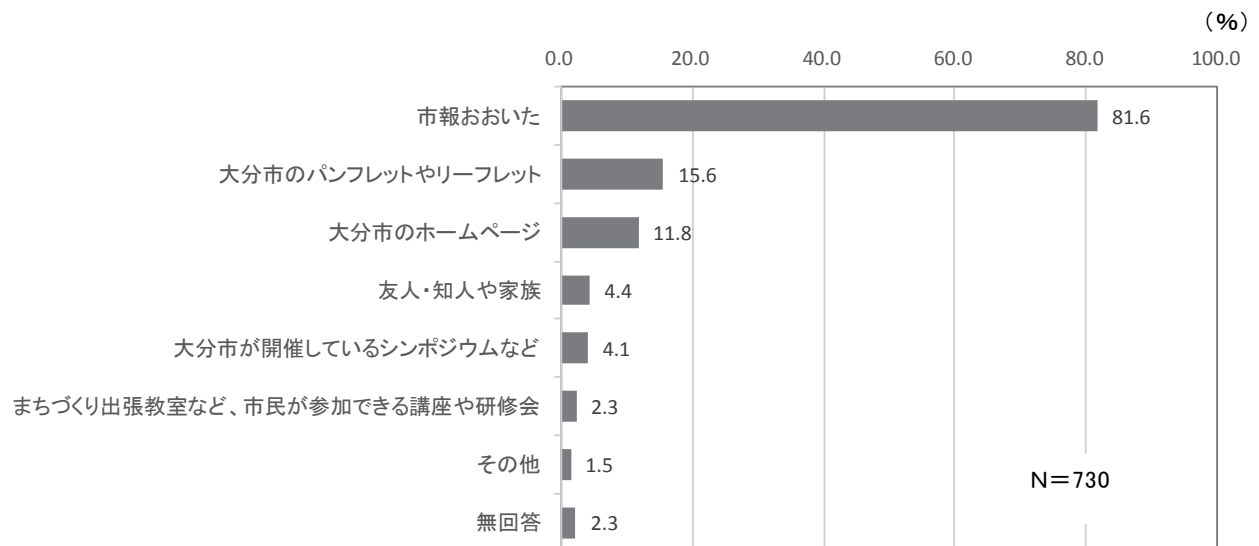
ア 「大分市まちづくり自治基本条例」を知っていますか。

「大分市まちづくり自治基本条例」については、「内容をよく知っている」と回答した方は1.5%、「読んだことはある」は12.4%、「読んだことはないが、名前は聞いた（見た）ことはある」は33.5%でした。「まったく聞いたことがない」と回答した方は49.7%でした。



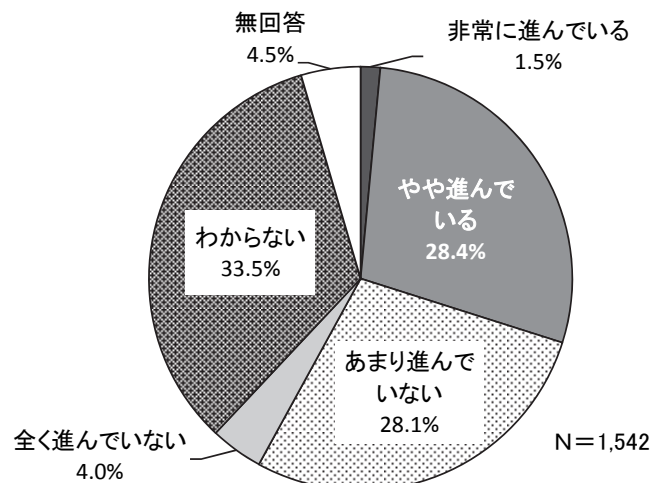
ア-① 「大分市まちづくり自治基本条例」を何から知りましたか。(あてはまるものすべて選んでください) (1、2、3と回答した方)

「大分市まちづくり自治基本条例」を知っていると回答した方に「大分市まちづくり自治基本条例」を何から知ったか尋ねたところ、「市報おおいた」が81.6%で最も多く、次いで「大分市のパンフレットやリーフレット」(15.6%)、「大分市のホームページ」(11.8%)と続いています



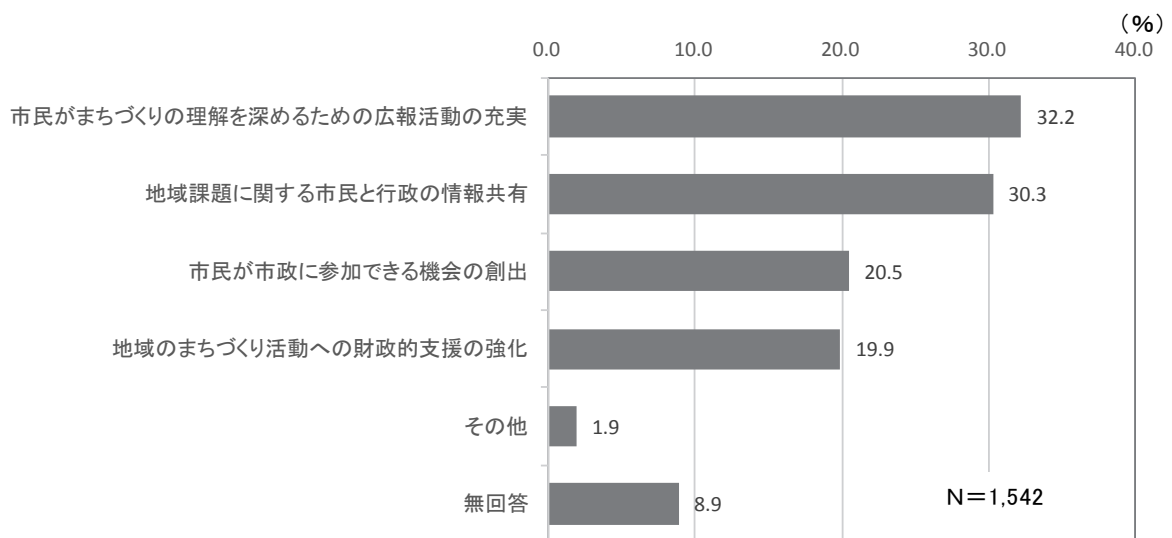
イ 市民主体のまちづくりを実現するために、地域の安全・安心に関する取組をはじめ、子育て、環境美化、高齢者福祉など、様々な分野で市民と行政が協力してまちづくりを進めています。あなたは、このような「協働によるまちづくり」が、どの程度進んでいると感じていますか。

「協働によるまちづくり」が、どの程度進んでいると感じていますかと尋ねたところ、「非常に進んでいる」と回答した方は1.5%、「やや進んでいる」は28.4%で、「あまり進んでいない」と回答した方は28.1%、「全く進んでいない」は4.0%、また「分からない」と回答した方は33.5%でした。



ウ 今後、市民主体のまちづくりをより進めていくためには、どのような取組の強化、内容の充実が必要だと思いますか。

内容の充実が必要だと思うものは、「市民がまちづくりの理解を深めるための広報活動の充実」という回答が 32.2%で最も多く、次いで「地域課題に関する市民と行政の情報共有」(30.3%)、「市民が市政に参加できる機会の創出」(20.5%)と続いています

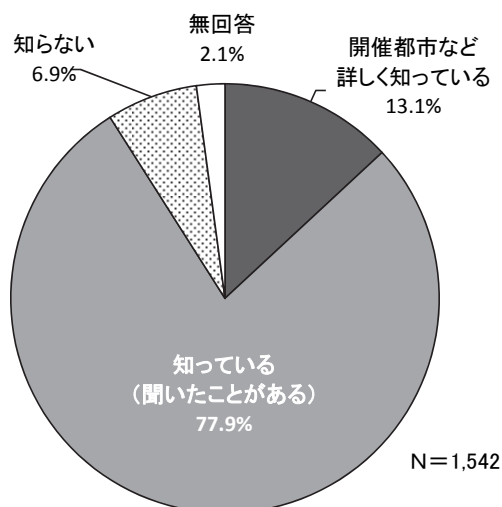


#### (4) ラグビーワールドカップ 2019 について

大分市では、平成 31（2019）年に開催される 4 年に 1 度のラグビー世界一決定戦であるラグビーワールドカップの日本大会に向けて気運の醸成等に取り組んでいます。

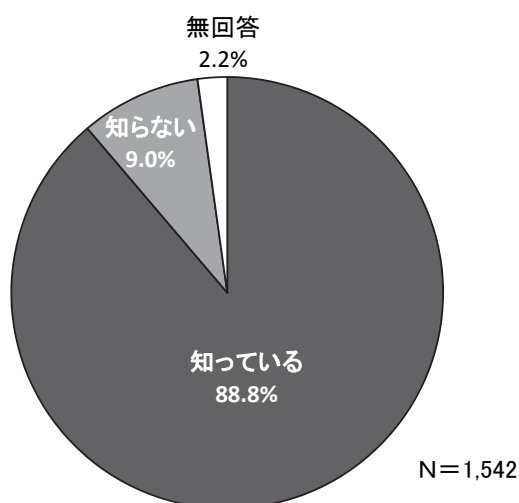
ア ラグビーワールドカップが平成 31 年に日本で開催（大分県など全国 12 都市で開催）されることを知っていますか。

ラグビーワールドカップが開催されることについては、「開催都市など詳しく知っている」と回答した方が 13.1%、「知っている（聞いたことがある）」が 77.9%で、「知らない」と回答した方は 6.9%でした。



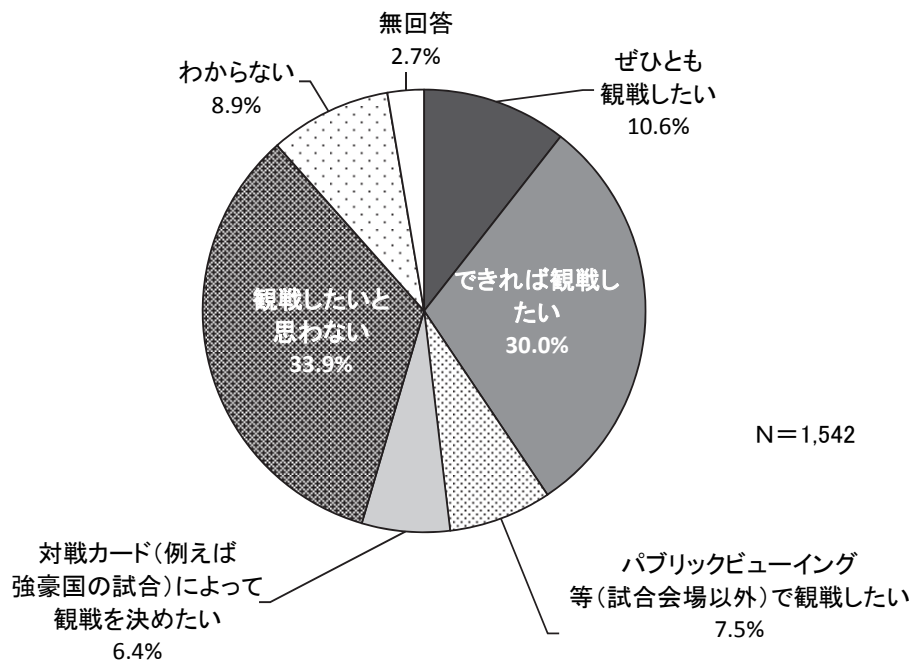
イ 平成 31 年に日本で開催されるラグビーワールドカップの開催会場の 1 つが大分スポーツ公園総合運動競技場（大分銀行ドーム）であることを知っていますか。

ラグビーワールドカップ開場の 1 つが大分スポーツ公園総合運動競技場（大分銀行ドーム）であることについては、「知っている」と回答した方は 88.8%、「知らない」と回答した方は 9.0%でした。



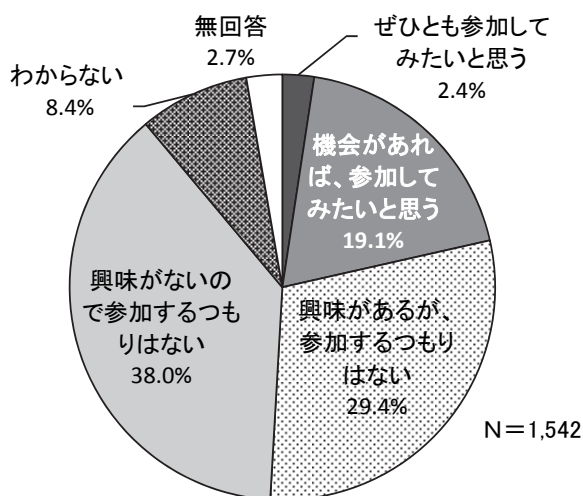
ウ 大分銀行ドームで開催される試合を観戦したいと思いますか。

大分銀行ドームで開催される試合については、「ぜひとも観戦したい」と回答した方は 10.6%、「できれば観戦したい」は 30.0%で、「観戦したいと思わない」と回答した方は 33.9%でした。



エ 平成 27 年度から、ラグビーワールドカップの開催に向けた普及啓発活動として、大分市内でのラグビーに関するイベントや体験教室などを行っていますが、今後、参加してみたいと思いますか。

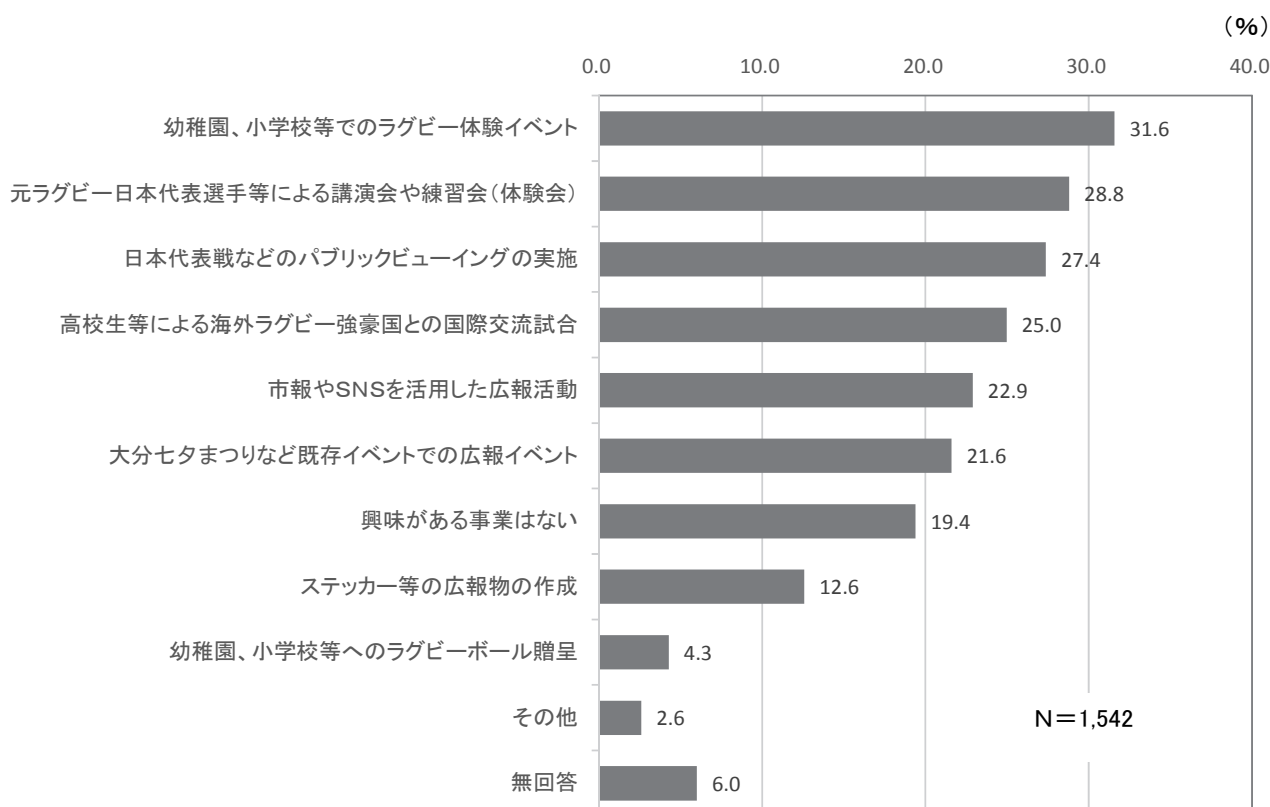
大分市内でのラグビーに関するイベントや体験教室などについては、「ぜひとも参加してみたいと思う」と回答した方は 2.4%、「機会があれば、参加してみたいと思う」は 19.1%で、「興味があるが、参加するつもりはない」と回答した方は 29.4%、「興味がないので参加するつもりはない」は 38.0%でした。





オ ラグビーワールドカップの開催に向けた気運醸成の活動として、興味がある事業は具体的にどのようなものですか。(3つまで選んでください)

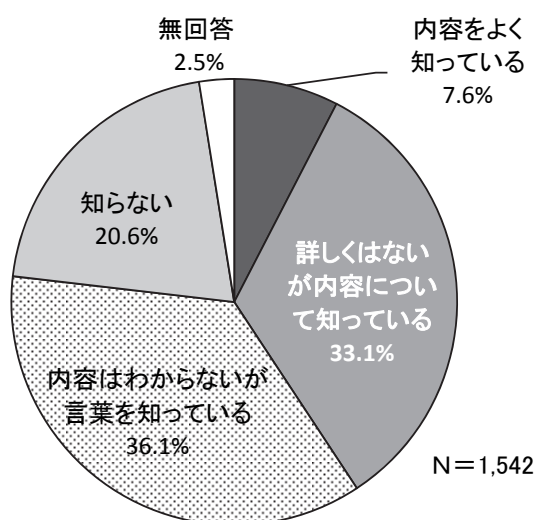
ラグビーワールドカップの開催に向けた気運醸成の活動として、興味がある事業については、「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」という回答が 31.6%で最も多く、次いで「元ラグビー日本代表選手等による講演会や練習会（体験会）」(28.8%)、「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」(27.4%)、「高校生等による海外ラグビー強豪国との国際交流試合」(25.0%)と続いています。



## (5) 男女共同参画社会について

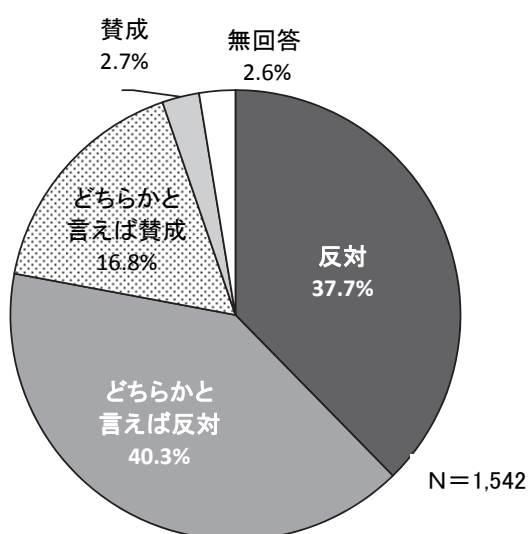
### ア 「男女共同参画社会」について知っていますか。

「男女共同参画社会」については、「内容をよく知っている」と回答した方は7.6%、「詳しくはないが内容について知っている」は33.1%で、「内容はわからないが言葉を知っている」は36.1%でした。「知らない」と回答した方は20.6%でした。



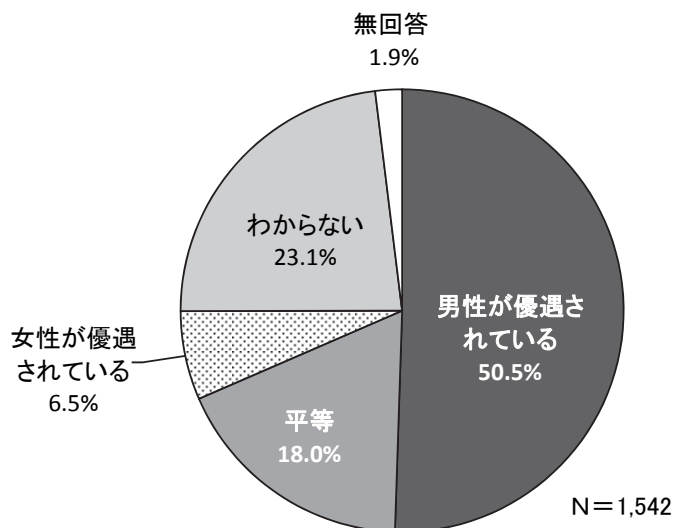
### イ 「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについてどうお考えですか。

「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについては、「反対」と回答した方が37.7%、「どちらかと言えば反対」が40.3%で、「どちらかと言えば賛成」は16.8%、「賛成」は2.7%でした。



ウ 社会全体を通して、男女の意識や地位は平等になっていると思いますか。

社会全体を通して、男女の意識や地位は平等になっていると思いますかと尋ねたところ、「男性が優遇されている」と回答した方は50.5%、「平等」が18.0%で、「女性が優遇されている」は6.5%でした。

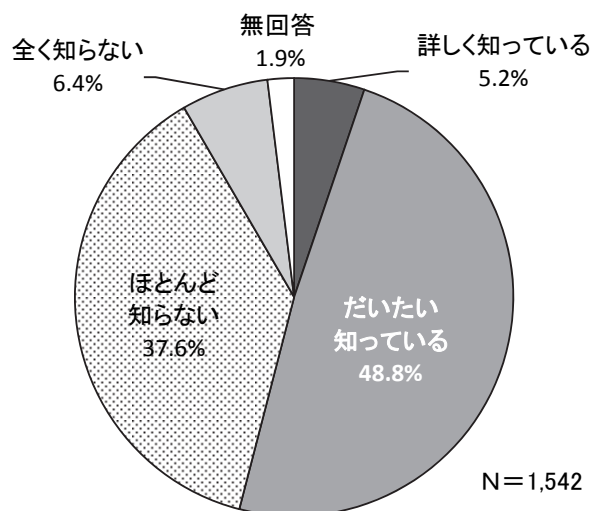


(6) 消防団について

大分市では、地域ごとの防災力を高めて安全・安心なまちづくりを行うために、消防団を充実させる取組を行っています。

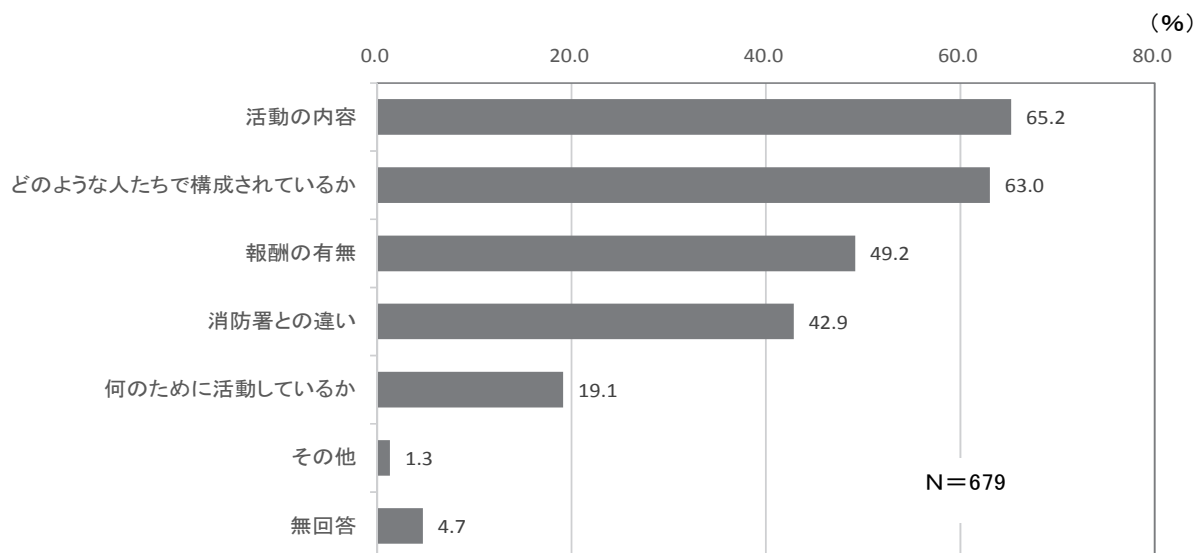
ア あなたは消防団のことをどの程度知っていますか。

消防団のことをどの程度知っていますかと尋ねたところ、「詳しく知っている」と回答した方は5.2%、「だいたい知っている」は48.8%で、「ほとんど知らない」は37.6%、「全く知らない」は6.4%でした。



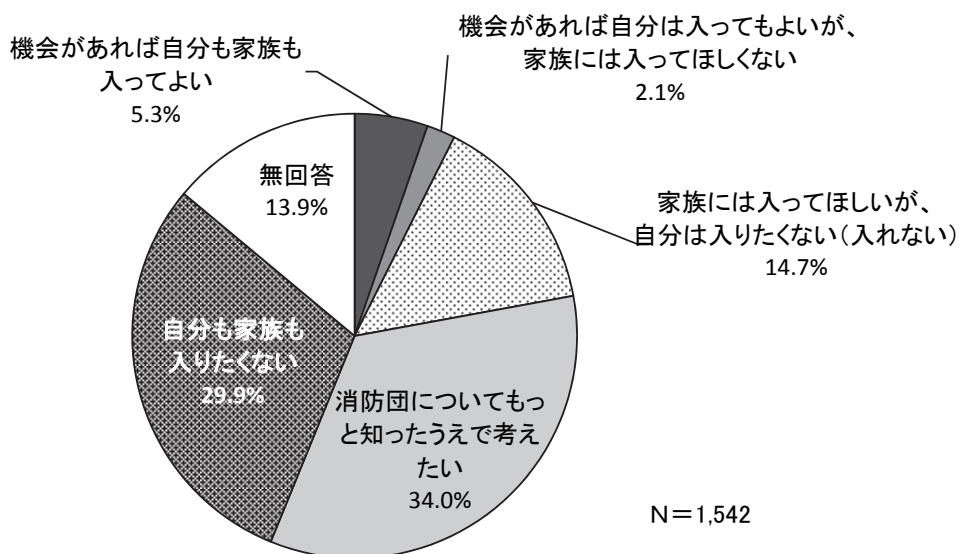
ア-① どの項目について知らないか教えてください。(あてはまるものすべて選んでください)  
(3、4 と回答した方)

消防団のことを「ほとんど知らない」、「全く知らない」と回答した方へ、どの項目について知らないかと尋ねたところ、「活動の内容」が65.2%で最も多く、次いで「どのような人たちで構成されているか」(63.0%)、「報酬の有無」(49.2%)、「消防署との違い」(42.9%)と続いています。



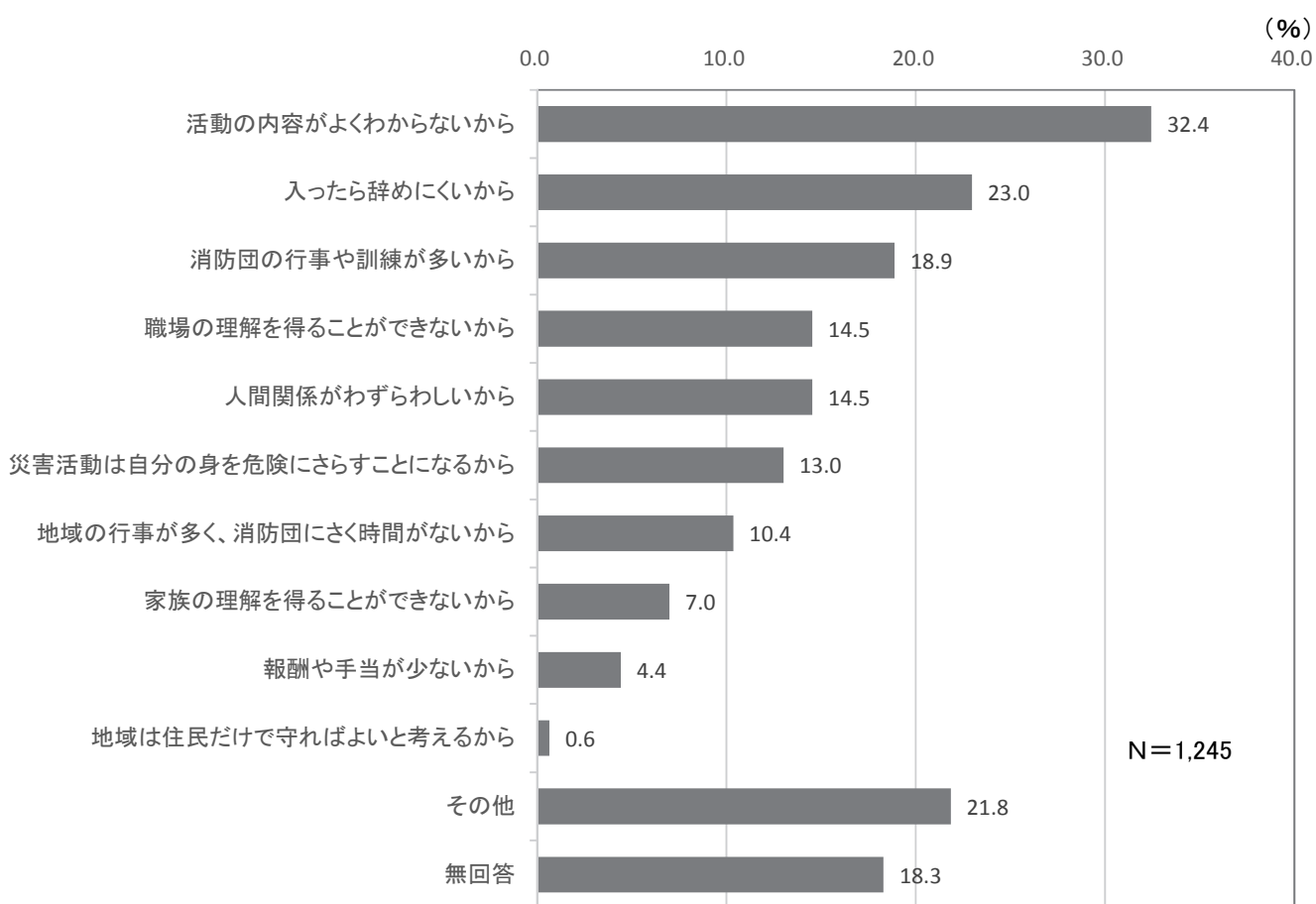
イ 大分市消防団は新入団員を募集しており、入団資格は18歳から60歳までの男女、大分市内に住まはたは勤務地があることです。あなたは消防団に機会があれば入りたいと思いますか。また、あなたの家族が消防団に入ってほしいと思いますか。

消防団入団については、「機会があれば自分も家族も入ってよい」と回答した方は5.3%、「機会があれば自分は入ってもよいが、家族には入ってほしくない」は2.1%、「家族には入ってほしいが、自分が入りたくない(入れない)」は14.7%、「消防団についてもっと知ったうえで考えたい」は34.0%、「自分も家族も入りたくない」は29.9%でした。



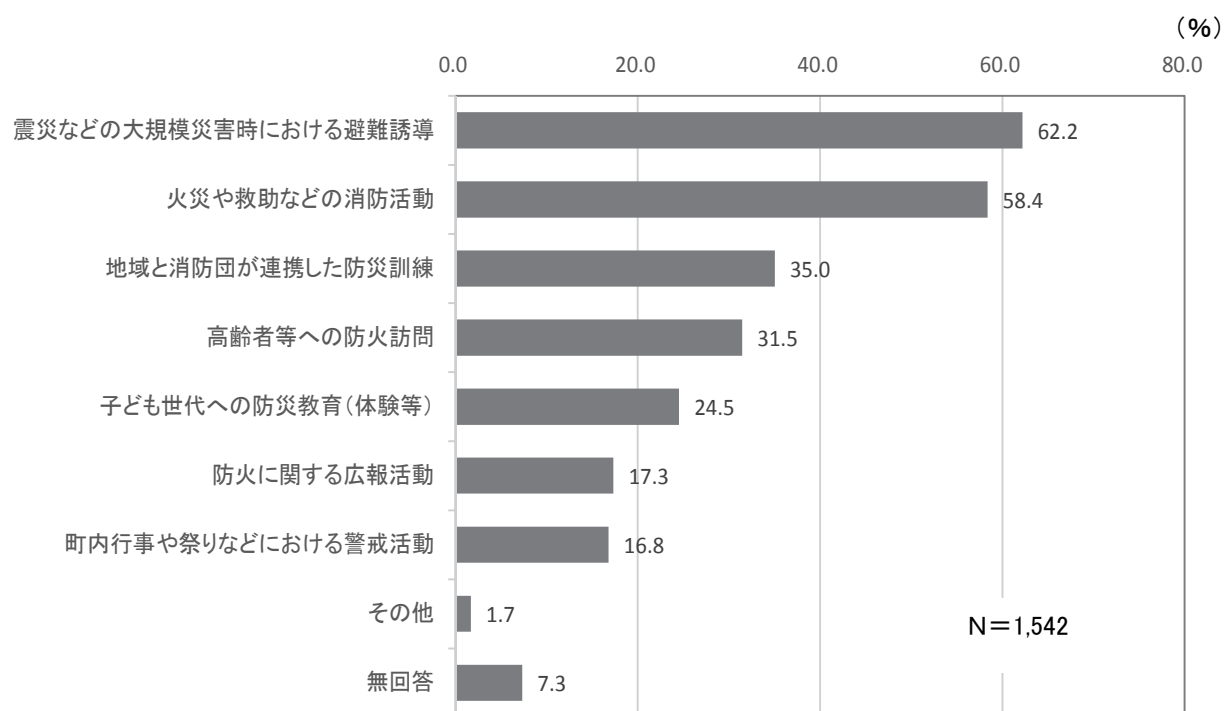
イ-① 入りたくない（入らせたくない）理由はどのようなものでしょうか。（あてはまるものを3つ選んでください）（2～5と回答した方）

消防団に「機会があれば自分も家族も入ってよい」と回答した以外の方に、入りたくない（入らせたくない）理由はどのようなものかと尋ねたところ、「活動の内容がよくわからないから」という回答が32.4%で最も多く、次いで「入ったら辞めにくいから」（23.0%）、「消防団の行事や訓練が多いから」（18.9%）、「職場の理解を得ることができないから」と「人間関係がわずらわしいから」が14.5%で続いています。



ウ 地域を守るために活躍する消防団員に、どのような活動を期待していますか。(あてはまるものを3つ選んでください)

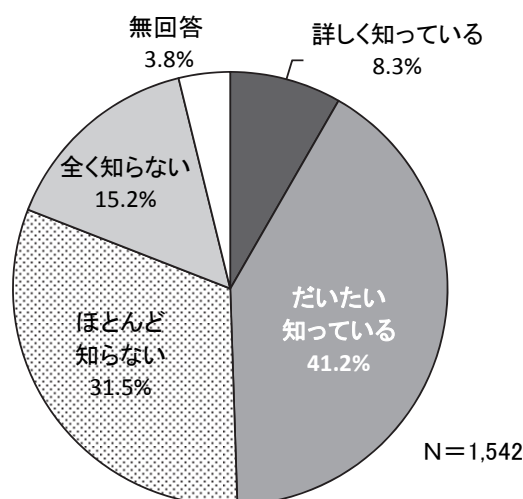
消防団員に期待する活動については、「震災などの大規模災害時における避難誘導」という回答が62.2%で最も多く、次いで「火災や救助などの消防活動」(58.4%)、「地域と消防団が連携した防災訓練」(35.0%)、「高齢者等への防火訪問」(31.5%)、「子ども世代への防災教育(体験等)」(24.5%)と続いています。



## (7) 応急手当について

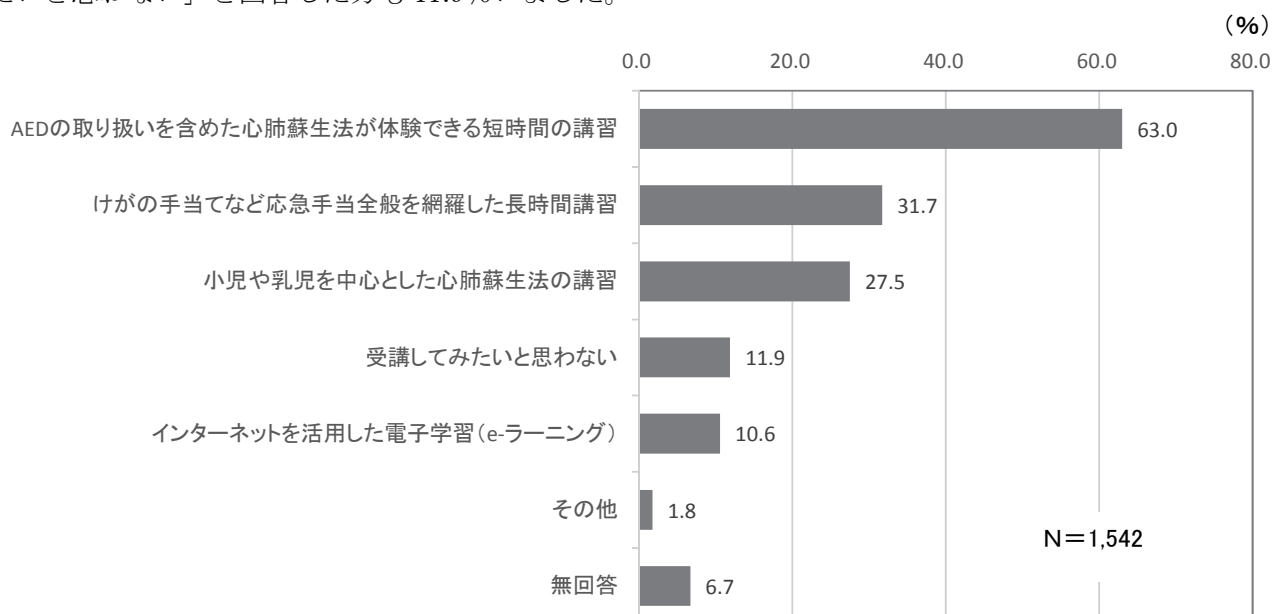
ア 消防局では、現場に居合わせた人が適切な応急処置ができるよう、各種救命講習を開催しています。消防局が開催している救命講習について知っていますか。

消防局が開催している救命講習については、「詳しく知っている」と回答した方が8.3%、「だいたい知っている」が41.2%で、「ほとんど知らない」が31.5%、「全く知らない」と回答した方は15.2%でした。



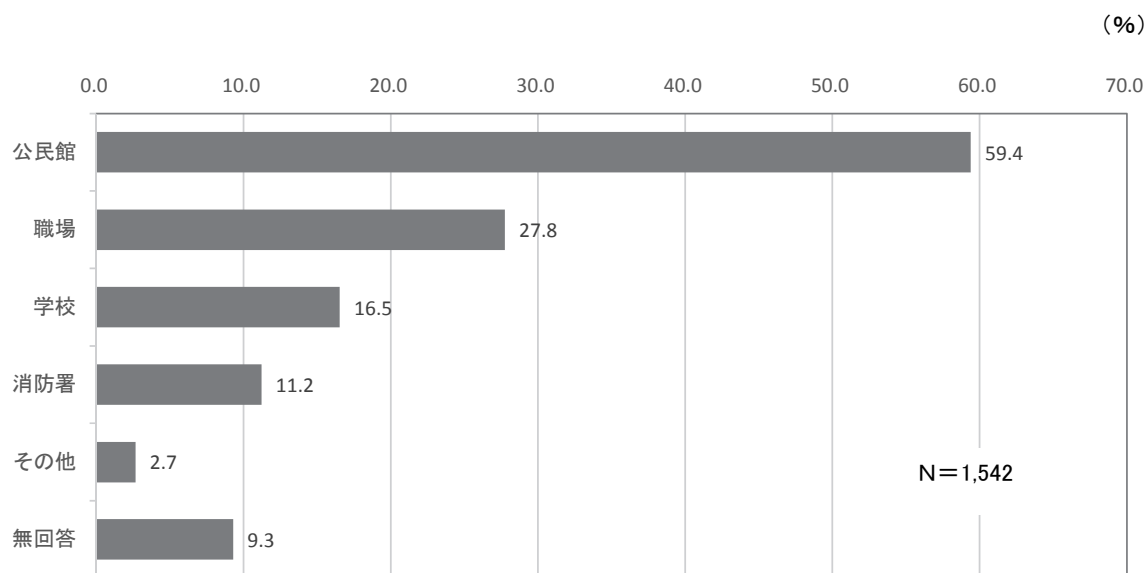
イ あなたが、受講してみたいと思う応急手当の講習は何ですか。(あてはまるものすべて選んでください)

受講してみたいと思う応急手当の講習は、「AEDの取り扱いを含めた心肺蘇生法が体験できる短時間の講習」という回答が63.0%で最も多く、次いで「けがの手当てなど応急手当全般を網羅した長時間講習」(31.7%)、「小児や乳児を中心とした心肺蘇生法の講習」(27.5%)と続いています。また「受講してみたいと思わない」と回答した方も11.9%いました。



ウ あなたが、応急手当の講習を受講しようとする際に、受講し易い場所はどこですか。(あてはまるものすべて選んでください)

応急手当の講習を受講しようとする際に、受講し易い場所は、「公民館」という回答が59.4%で最も多く、次いで「職場」(27.8%)、「学校」(16.5%)、「消防署」(11.2%)となっています。



エ あなたが、応急手当の講習を受講する際に、受講し易い時間帯はいつですか。(あてはまるものすべて選んでください)

応急手当の講習を受講する際に、受講し易い時間帯については、「午前(9時~12時)」という回答が40.0%で最も多く、次いで「午後(13時~16時)」(34.8%)、「夜間(18時~21時)」(23.7%)となっています。

